

42℃の熱によるムシ療法(齧られたら・刺されたら)

ムカデ毒は 3 つの要素からできている

① ヒスタミン (毒)

② ヒアルロニダーゼ (たんぱく質で構成された酵素)

ヒスタミン(毒)を体内に浸透させる役割をする

③ セロトニン (神経に作用する)

ヒスタミン(毒)を何倍にも刺激を増幅する



②のたんぱく質で構成されているものは「熱」に弱い

42℃以上の熱に弱い

つまり ②を熱でやっつけば①や③の阻止につながるのだ！

洗浄にも効果あり

弱酸性以外のシャンプー及び石鹸をつかい毒を洗い落とす

熱いシャワーによるシャンプー洗浄は、
蚊に刺されて痒いときにも良く効く。
痒みがなくなる。

熱い蒸しタオルを押し付けても良く効く

即効で痒みが消失する

痒みの正体は蚊に注入された麻酔成分を含む複雑な酵素群です。

だから 酵素は熱に弱いので熱いシャワーや蒸しタオルにより

蚊に注入された酵素群を失活させる事ができます



失活(しっかつ)とは 科学物質などの活性が失われ、反応を起こさなくなる事